



絵：宝塚市立山手台中学校美術部（2019年度）

目 次

【はじめに】	1
【現状と課題】	2
【 ^{まち} 地域の将来像】	3
【基本目標】	3
【具体的な取り組み】	4
【あとがき】	9
【資料】	別冊

【はじめに】

まちづくり計画の見直しにあたり、まちづくり協議会の呼びかけにより実行委員会を結成し、ここが中心となって策定活動にあたりました。

まず、地域の皆さまや小学生にアンケートを実施したところ、多大なる的確、親身、切実なご意見をいただきました。私たちのまちは閑静な住宅街であり、この環境を好むからこそそのまちへの要望の高さであると受け止め、この活動の重要性をあらためて感じるどころから始まりました。

その後、数回に分けてまち歩きを実施することでアンケートの内容をより理解し、まちづくり計画の具体的な取り組みの策定に向けて修正を重ね完成に至りました。

まちづくり計画の具体的な取り組みの実施においては、まちづくり協議会、地域諸団体、地域の皆さまが協力して「無理なく継続」できることが重要です。各団体のメンバーは年を経て交代していきます。当まちづくり協議会は、「誰でも無理なく引き継いでいけることが取り組みの実施の成果につながる」ことを常に意識してまいります。

【現状と課題】

私たちのまち「山本山手地区」は、山手台小学校区の山本台、山手台と長尾小学校区の平井山荘からなります。長尾山系山麓中腹部に 1965 年以降に順次開発された住宅地で、現在も山手台では開発が進められています。北から南へ傾斜地となっていますが、ブロック内は比較的緩やかな傾斜になるよう造成されており、谷や造成斜面は緑が豊かな空間となっています。一方で、緑の適切な管理が課題になっており、市の所管課において定期的に刈り込みや剪定作業がなされていますが、そのあり方に不満をもつ人もいます。砂防のために植林されたヤジャブシやクズなどをいかに除去し、良好な緑の質を維持・保全するかが課題となっています。

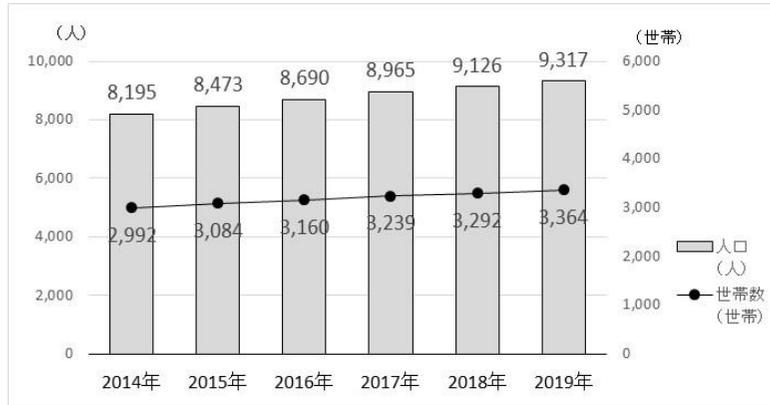
山手台、平井山荘は地区計画の決定がなされており、山手台は建築協定を締結、平井山荘は都市景観形成地域の指定を受けるなど、住民合意による良好な住環境づくりがなされていますが、維持していくためには各家での努力や配慮が欠かせないものとなっています。公園は街区ごとに比較的広い面積のものが整備され、自治会館もあります。これらの地域資源を有効に活用していくことが必要だと思っています。

地区の人口は、開発が広がるとともに増加しており、今後さらに増加が見込まれます。転入される世帯は比較的若い人が多いため、高齢化率は 17.3%前後で推移していますが、地区内の住宅地の中では古い山本台や平井山荘、山手台西 2 丁目では、世帯分離が進み人口が減少している地域や高齢化などにより空き家が増えています。自治会を単位とした取り組みが活発で、それぞれの自治会の特性に応じた活動がなされており、身近な自治会館に人々が集まって趣味の会や、子どものためのイベントなどがなされていますが、今後は、このつながりを福祉や防災に活かしていくことが必要だと感じています。

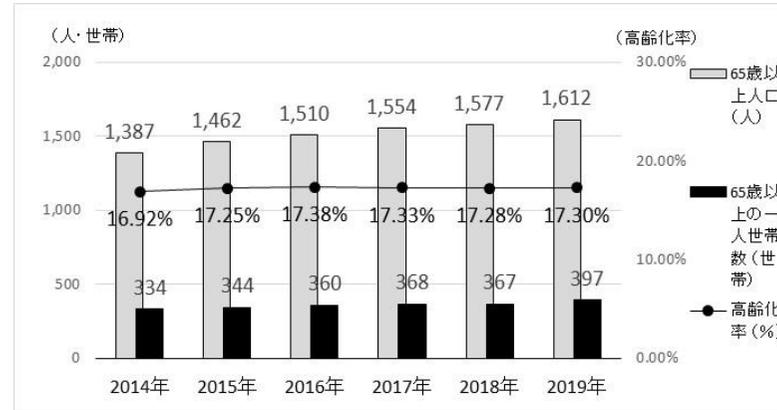
この地区の最大の課題は、1本の幹線道路にバスや自家用車が集中し渋滞が発生して通勤・通学のための駅までの移動に時間がかかること、幹線道路がカーブしているなど見通しが悪いため、歩行者が横断しにくいことなどの交通問題です。坂があるまちでもあることから、より近くに生活利便施設の整備を求める声もあります。



山本山手地区の人口・世帯数の推移

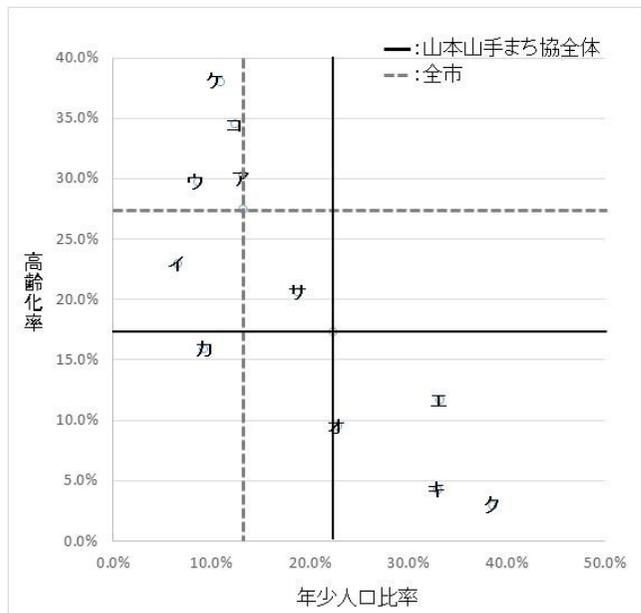


65歳以上人口・一人暮らし世帯数・高齢化率の推移



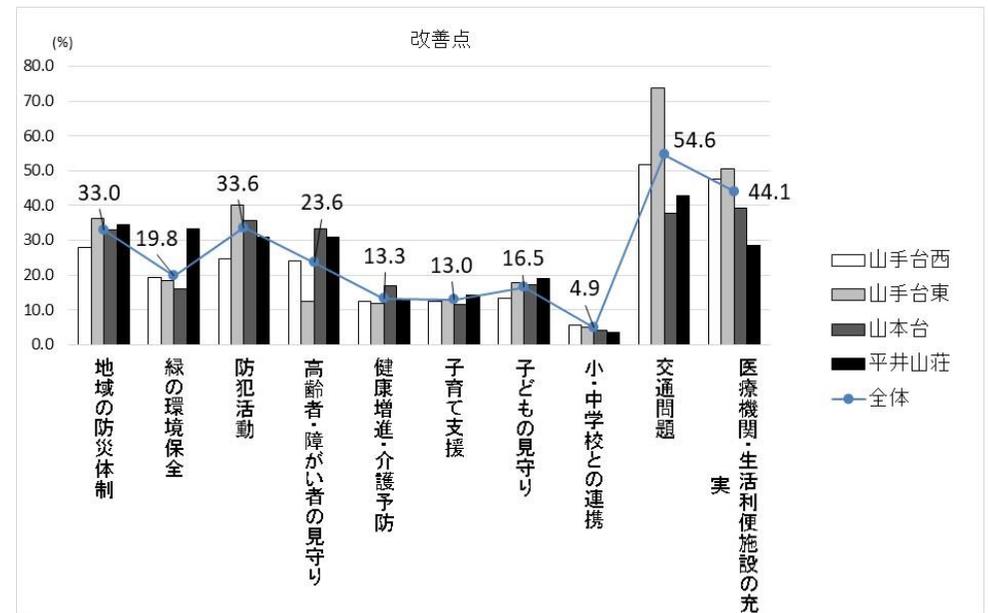
資料：各年3月末日 住民基本台帳（まち協別集計）

町丁目ごとの高齢化率・年少率の分布



ア	平井山荘
イ	山手台西1丁目
ウ	山手台西2丁目
エ	山手台西4丁目
オ	山手台東1丁目
カ	山手台東2丁目
キ	山手台東3丁目
ク	山手台東5丁目
ケ	山本台1丁目
コ	山本台2丁目
サ	山本台3丁目

地域の優先度が高い改善点（3つまで選択）



資料：2019年3月末日 住民基本台帳（町丁目別集計）

2018年これからの「地域まちづくり」を考えるアンケート調査結果

【^{まち}地域の将来像】



まちキョンのつづやき…

今は大規模な震災があれば、いち早くこの地域から脱出したいと考えてる人もいるみたいやけど、地域のみんなで「どないしてもここにとどまりたい」と思えるまちになったらええなあ。



コミちゃんのつづやき…

このまちは良いところもいっぱいあるし、良くなったことも色々あって、みんなで知恵を出し合って、いずれは、ここが私たちの「ふるさと」だと誇れるまちにしていきたいなあ。

【基本目標】

(防災) 災害に冷静、迅速対応し、危険から守り合えるまち

地区内には土砂災害危険区域・土砂災害特別警戒区域があります。災害発生時間帯によっては、保護者が帰宅困難となり、子どもだけになってしまう家庭も多いと想定されます。子どもから高齢者まで、それぞれが自分自身を守る行動をとり、各家庭での備え、適切な災害情報の取得など減災につながる活動を進めるため、学ぶ場づくりを行います。また、地域内の連絡体制、自治会内での助け合いなど、各家庭と地域全体が一体となった地域防災力の強化を図ります。

(住環境) あふれる緑が織りなす四季の美しい景色と生活利便性を兼ね備えたまち

地区の魅力である緑の空間は、適切な維持管理が不可欠です。地域と市、開発事業者等の関係機関が連携して、緑をいかに維持していくかを再検討し、住民がなすべきこと、市等で事業として実施することを明確にし、より質の高い住環境の創造に努めます。また、山本駅周辺には生活利便施設がありますが、高台の生活利便性に高めるために、必要とされる機能や施設の誘致を開発事業者等に求めています。

(防犯) 犯罪が起きにくく、安心・安全に暮らせるまち

住民一人ひとりが、ご近所同士であいさつをし合い、不審者がいないかなどまちに目を配ってもらえるよう、地域全体で防災意識の向上と日々の取り組みを推進します。自治会等が中心になってパトロールなどを実施し、防犯意識の高い地域であることをアピールします。また、市や警察署と連携して、犯罪を未然に防ぐ取り組みを強化します。

(交通) 事故がなく、車の渋滞で困ることがないまち

自動車・自転車・歩いている人、すべての住民が交通規則を厳守し、お互いに譲り合って、安全を守り合うまちにしていくという意識を醸成します。また、市、警察署と連携して、発生している事故などの危険な状況を分析し、改善策を検討・実施するなど、地域内の道路環境の向上に努めます。

(健康・福祉・交流) 出会い、ふれあいがあり、誰もが健康で活躍できる場があるまち

長く住んでいる人と新しい住民、子どもと高齢者、世代内、世代間など、さまざまな住民の交流が自然と生まれる場所と仕組みをつくります。また、障がいのある人、日本語がわかりにくい人など、交流がしにくい人が参加しやすい工夫に努めます。自分にできることで社会的に活躍できる場づくりを行い、みんなで支え合うコミュニティづくりを目指します。

(青少年) 子ども達や親子が安心して遊び、学び、集い、仲間づくりができるまち

新たに転入してきた子どもや保護者が、すぐに打ち解け、仲間づくりができるよう、気軽に参加できる交流の場づくりを行います。また、子ども達が地域の中で、楽しくさまざまな経験ができ、健全に過ごすことができる場を提供します。

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール (西暦)					役割分担 (協働の領域)				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政		④主に行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1. 災害に冷静、迅速対応し、危険から守り合えるまち	1.各家庭での防災対策の強化													
	1 防災研修会の実施	○		→							○		安全部、自治会	
	2 防災総合訓練の実施	○		→							○	安全部、自治会、小学校、宝塚消防署		
	3 災害時対応マニュアルづくり		○	→							○			
	2.校区全体での防災体制づくり													
	1 自治体単位での対応の強化 (安否確認、校区内の連絡体制・情報共有、備蓄など)		○	→							○	自治会、自主防災会		
	2 災害時に想定される問題と対応の検討		○	→						○		副代表者会議にて実施		
3 (再掲) 総合防災訓練の実施	○		→							○	1.1.2と同じ			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政		④主に行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1. 災害に冷静、迅速対応し、危険から守り合えるまち	4 避難所として利用できる小学校施設の確認と利用方針づくり（避難所施設利用計画）	○		→							○			
	5 中学校の避難所施設利用計画づくり		○	→										
	6 防災備蓄の充実、更新		○	→	→	→	→					○		
	7 山本山手地区防災計画の作成		○	→	→	→	→							
	3.ハード面での防災対策の強化													
	斜面地の安全性確保	○		→	→	→	→					○		
2. あふれる緑が織りなす四季の美しい景色と生活利便性を兼ね備えたまち	1.生活利便施設の充実													
	1 関係機関との協議の実施（消防署・医療施設、等）		○	→	→	→	→					○		
	2 郵便局の誘致要望		○	→							○			
	3 いつでも気軽に立ち寄って自由に使える“みんなの図書館”開設		○	→	→	→	→					○		関連事業 5.6.3
	2.緑地・斜面地の適正管理													
	1 あじさいロード定期清掃（アドプト制度活用）	○		→	→	→	→					○		まち協、山手台中学校
	2 CoKoセンター南斜面の整備	○		→	→	→	→				○			
	3 緑地（道路脇の草刈り地・公園等）の協働管理手法の検討		○	→								○		
	4 緑のあり方（主に斜面地、法面）に関する調査・検討		○	→									○	
	3.公園の有効活用													
	1 公園の適切な維持管理	○		→	→	→	→						○	
	2 公園点検・有効活用方策の検討		○	→	→	→	→							自治会
3 公園の再整備（大人の遊具、屋根付きベンチ）		○	→	→	→	→							自治会	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政		④主に行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
3. 犯罪が起きにくく、安心・安全に暮らせるまち	1.パトロール活動の強化													
	1	資源ゴミ持ち去り撲滅 (条例での所有権の明確化を含む)	○									○		
	2	アトム110番協力依頼	○								○			自治会
	3	防犯カメラの設置 (通学路、危険箇所)		○								○		
	4	課題の共有と改善	○									○		副代表者会議にて実施
	2.宝塚警察署との連携強化													
	1	問題発生時の即時の通報	○									○		
	2	予防策の検討・実施	○									○		
	3	交番の設置要望	○									○		
	3空地・空き家の適切な管理													
1	所有者への管理要請	○										○	市	
4. 事故がなく、車の渋滞で困ることがないまち	1.渋滞緩和対策													
	1	幹線道路の渋滞緩和策の検討		○									○	
	2	利便性の高いバス交通の確保		○									○	
	3	国道176号へのアクセスの改善		○									○	
	2.道路の安全対策													
	1	市道3259号(けやき坂通)の凍結防止策の実施	○										○	
	2	市道3259号の交通事故撲滅対策		○									○	
	3	市道3259号の改善についての協議		○								○		
	3.自転車対策													
1	自転車交通ルール遵守の啓発活動	○										○	青少年育成部	
2	自転車講習会	○									○		青少年育成部	
3	自転車専用レーン設置の検討		○									○		

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政		④主に行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
4. 事故がなく、車の渋滞で困ることがないまち	4. 阪急電鉄平井踏切道の改善													
	1 協議の場、改善案づくり		○										○	
	5. 地域内の福祉ミニバスの検討													
	1 協議の場づくり		○									○		
	2 活用できる制度の紹介		○										○	
5. 出会い、ふれあいがあり、誰もが健康で活躍できる場があるまち	1. 課題・ニーズの把握													
	1 ネットワーク会議の開催		○							○				
	2. 福祉の専門家とのつながりづくり													
	1 なんでも相談室の開催		○									○		協力：市社協、保健センター
	2 民生・児童委員の強化 (人員増・活動しやすい環境づくり)		○										○	
	3. 健康づくり													
	1 健康づくり推進事業の実施		○							○				福祉部、各自治会
	4. 居場所づくり													
	1 サロンの実施		○							○				
	2 自主活動・クラブ活動の推進		○							○				
	5. 地域貢献活動の場づくり													
	1 コミュニティ運営会議の開催		○							○				
6. コミュニティの拠点づくり														
1 CoKoセンターの管理		○							○					
2 CoKoセンターの運営		○							○					
3 拠点の機能・施設の向上検討 (図書室、自習室など)		○									○			

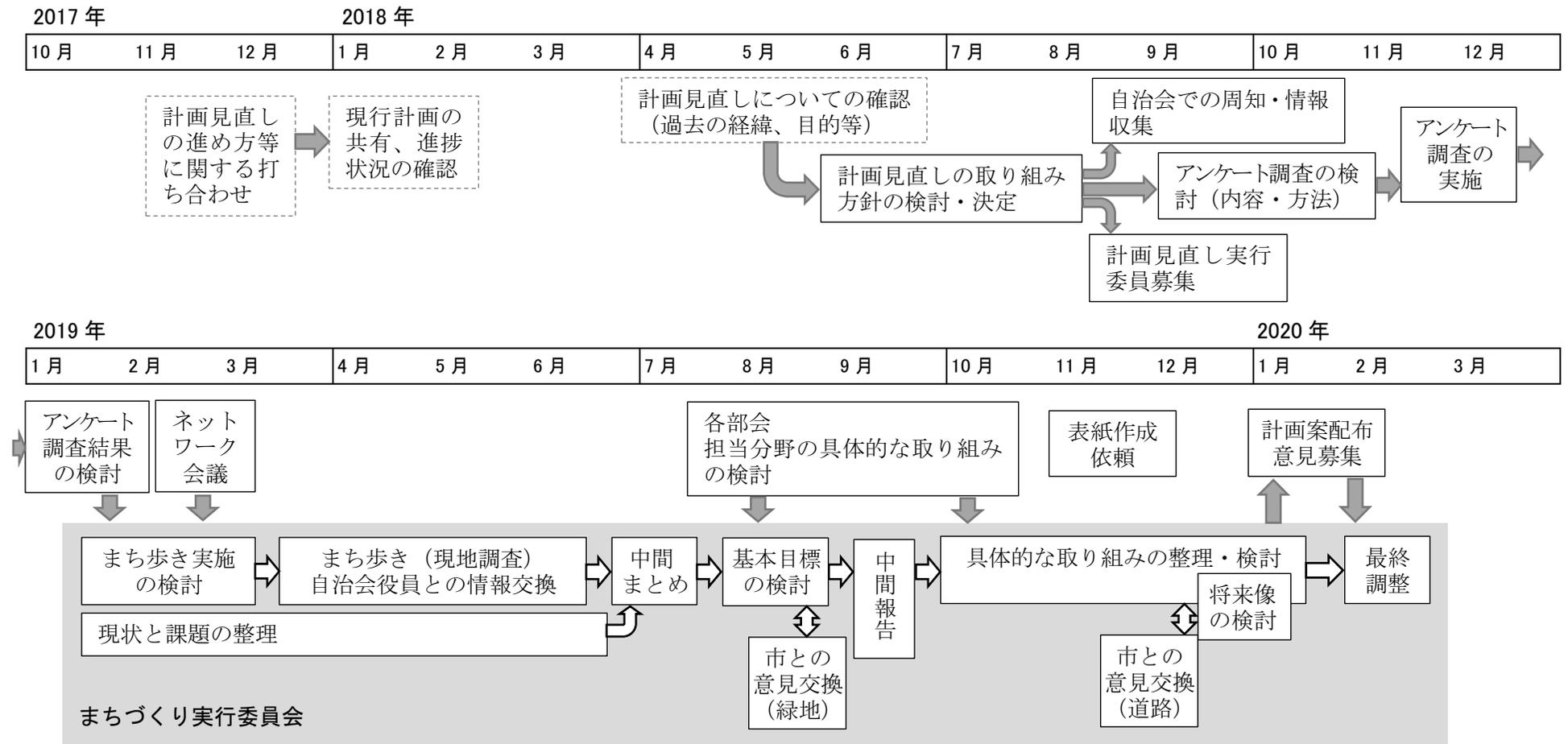
基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政		④主に行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
5. 出会い、ふれあいがあり、誰もが健康で活躍できる場があるまち	7.活動の見える化													
	1 広報紙の発行	○								○				
	2 ネットでの情報発信	○								○				
	8.多世代の交流の場づくり													
	1 CoKoセンターを活用した交流事業の実施（体験会、種まき講座など）	○								○				
2 どんど焼きの開催	○								○					
3 まち協のおまつりの検討		○							○					
4 スポーツクラブ21山手台	○								○					
5 ハイキングの実施	○								○			文化部		
6. 子ども達や親子が安心して遊び、学び、集い、仲間づくりができるまち	1.子どもの居場所づくり													
	1 子ども館の運営	○									○		第6ブロック子ども館協議会	
	2 やまやまひろば運営事業	○								○				
	3 寺子屋	○								○				
	4 夏休み自由研究	○								○			青少年育成部	
	2.親子で楽しむ場づくり													
	1 「みんなであそぼ」	○								○			青少年育成市民会議	
	2 ふれあいラジオ体操	○								○			青少年育成部	
	3.コミュニティ活動への参加の場づくり													
	1 中学生提案事業	○									○			
4.コミュニティ・スクールづくり														
1 コミュニティ・スクールへの協力		○								○		山手台小学校		

【あしがき】

地域の皆さまにおかれましては、アンケート実施の際、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

自治会各位におきまして、アンケート配布のご協力や、見直し活動の経過報告においてご意見をいただきました。また、まち歩きの際、暑い中や寒い中を快く先導していただきました。感謝申し上げます。

○主な取り組みの流れ



○アンケート調査にご協力いただいたみなさま

<p>【配布・回収団体】</p> <p>平井山荘自治会 山本台自治会 クレール宝塚ベルエール自治会 宝塚山手台自治会 宝塚山手台東自治会 宝塚山手台西4丁目自治会 宝塚山手台東5丁目自治会 県営宝塚切畑住宅自治会 ジオ宝塚山手台フロントテラス</p>	<p>【調査協力事業所】</p> <p>阪急オアシス宝塚山手台店 ポラリスデイサービスセンター山手台</p> <p>【調査協力団体】</p> <p>山手台小学校 山手台小学校 2018年度4年生、5年生、6年生児童 2018年度平井山荘子ども会 2018年度平井山荘子ども会所属児童</p>
--	---

【資料】

- 別冊 資料1 改善箇所チェックリスト（2018・19年度まち歩きの成果まとめ）
- 別冊 資料2 これからの「地域まちづくり」を考えるアンケート調査報告書 2019年3月2日
- 別冊 資料3 これからの「地域まちづくり」を考える小学生アンケート調査結果